

## 1. 姫路港旅客ターミナルエリアの課題

### ①交通結節点としての快適性・利便性の欠如

ポートセンタービルの老朽化 / ターミナル機能が分散 (ポートセンタービルと旅客船ターミナル) / 駐車場の分散・不足 / 駐輪場が不足 / ロータリーが手狭でハイシーズンには待機車両が溢れ歩車が輻輳し安全な乗降に支障 / ポートセンタービルが古く使いにくい (トイレ・空調・券売等) …等

### ②貨物と旅客の混在

クルーズ船見物客と貨物車両が輻輳 / 倉庫から物揚場までが遠く貨物車両が長距離を往来 …等

### ③クルーズ旅客の受入れ環境が不十分

旅客船ターミナルがクルーズ船から遠く利用されていない / 雨天時等のおもてなしに支障 / クルーズ旅客に対応した設備が不足 (無料公衆無線 LAN 等) …等

### ④にぎわいが不足

現状の機能では物足りない / 観光情報の不足 / みなとミュージアムの利用が低調 …等

### ⑤水辺空間としての日常利用が低調

飾万津臨港公園前は物揚場で水辺に近づけない / ゴミが散乱し憩える水辺空間とは言い難い / 貨物車両等が自由に岸壁を往来 …等

### ⑥海の玄関口として港景観形成がなされていない

殺風景で港自体が暗い / 周辺に工場が建ち並び海の玄関口としての第一印象が良くない / 貨物用のパレット等が景観を阻害 …等

## 2. 関連計画からの要請

姫路市総合計画 (ふるさと・ひめじプラン 2020)  
 姫路市都市計画マスタープラン  
 公共交通機関を中心とした姫路市総合交通計画  
 姫路市観光戦略プラン (案)  
 姫路港の整備・利用のあり方

- 都市構造・土地利用…姫路市南部における商業、業務副核の強化
- 交通…離島航路の利用者拡大と航路事業の効率化
- 観光…インバウンド観光の推進 (クルーズ船の誘致)
- 交流…臨港部に人のにぎわいと魅力ある交流の場の創出 (親港拠点)
- 産業振興…積極的なポートセールスの推進

## 3. 目指すべき方向性

- ①交通結節点の快適性・利便性の向上
- ②効率的な機能配置による貨物と旅客の棲み分け
- ③クルーズ旅客受入れ環境の強化

- ④魅力的な機能導入によるにぎわいの拠点づくり
- ⑤集い憩える快適で魅力的な水辺空間の創出
- ⑥姫路港の玄関口としてふさわしい良好な港景観の形成

## 4. 目指すべき方向性実現に向けた取組方策

### 取組方策Ⅰ：基本機能の改善

#### ①交通結節点の快適性・利便性の向上

- 分散しているターミナル機能の集約 (既存施設活用)
- 駐車場の集約、臨時駐車場の確保、駐輪場の整備
- バス・乗用車・タクシー等の安全な乗降場の確保
- ユニバーサルデザインに配慮した設備の整備 (ゆったりトイレ、分かりやすい案内表示等)

#### ②効率的な機能配置による貨物と旅客の棲み分け

- 貨物と旅客の分離及び、動線の改善 (短縮、明確化)

#### ③クルーズ旅客の受入れ環境の強化

- 旅客船ターミナルでのクルーズ旅客の受入れ
- クルーズ旅客に対応した設備の整備 (無料公衆無線 LAN、スマホ等の充電設備等)

### 取組方策Ⅱ：にぎわい施設の導入

#### ④魅力的な機能導入によるにぎわいの拠点づくり

- 地元で愛され、高齢者から子供連れまで多くの人々が「味わえる」「買える」「憩える」「楽しめる」にぎわい施設の導入

#### 【導入例】

- ・水辺空間を活かす：海辺のカフェ・レストラン等
- ・家島など地元産海産物等を活かす：物産販売等
- ・瀬戸内の観光資源を活かす：サイクリストの交流・宿泊施設等
- ・歴史・文化・産業を活かす：工場博物館等
- みなとミュージアムの拡充 (観光情報、歴史・文化情報の充実)

### 取組方策Ⅲ：魅力的なみなと空間の形成

#### ⑤憩い集える快適で魅力的な水辺空間の創出

- 貨物機能移転による人々が海に近づける水辺空間の創出
- 水際線の憩い空間であるプロムナードの整備と車両通行の規制

#### ⑥姫路港の玄関口としてふさわしい良好な港景観の形成

- 旅客船ターミナルの外観、プロムナード舗装など海上からの見え方も意識した景観の創出
- 視線を引きつけ周辺工場の印象を緩和する連続した植栽の整備

#### ■機能分類

基本機能：ターミナル機能、物流機能、クルーズ機能  
 付加機能：商業機能、飲食機能、レジャー・レクリエーション機能、文化・交流機能、スポーツ機能、宿泊機能



5. 機能配置のイメージ

機能配置の考え方

交通結節機能の集約

- 交通結節機能（定期船・フェリーさん橋、バス・タクシー乗り場、駐車場、クルーズ船の乗船場等）を旅客船ターミナルに集約

物流機能の移転

- 物流機能（貨物物揚場、荷さばき地、貨物倉庫）を現ポートセンタービル周辺に移転

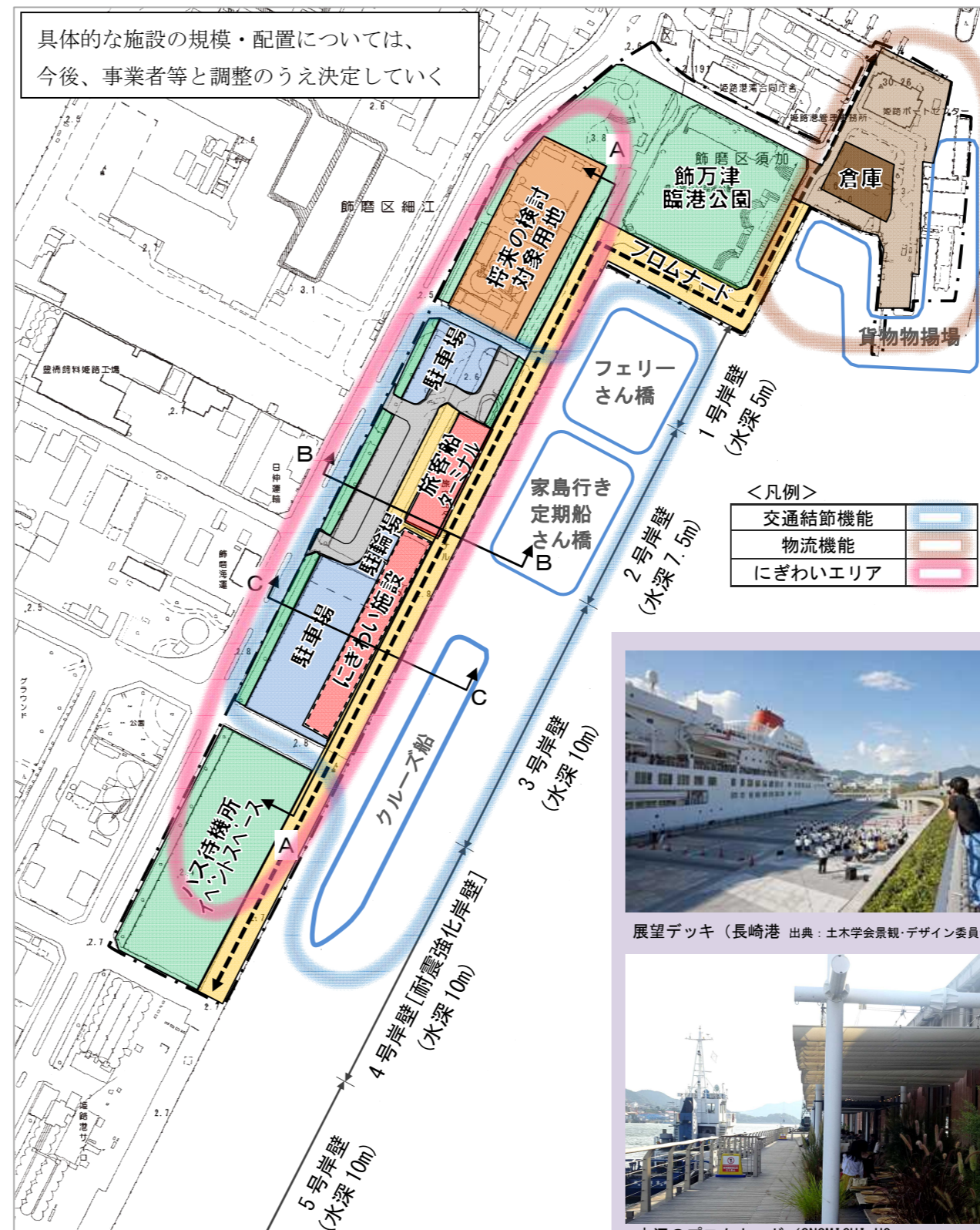
にぎわい施設の導入

- 新たなにぎわい施設を旅客船ターミナルを中心としたエリアに配置
- にぎわい施設に隣接する耐震強化岸壁（4号岸壁）の背後地（災害時の緊急物資の荷さばき地）は、平常時にイベントスペース等として一体的に活用

魅力的なみなと空間の形成

- 水際にプロムナードを配置
- にぎわい施設から飾万津臨港公園間に展望デッキを配置
- 臨港道路沿いには植樹を行い緑の連続性を確保
- セメントサイロ前に高木を植樹

具体的な施設の規模・配置については、今後、事業者等と調整のうえ決定していく



にぎわい施設の導入例



レストラン（松山観光港 出典：松山観光港HP）



物産販売（道の駅マリニピア伊東 出典：現地にて撮影）



展望デッキ（長崎港 出典：土木学会景観・デザイン委員会HP）



サイクリング拠点（ONOMICHI U2 出典：cyclowired HP）

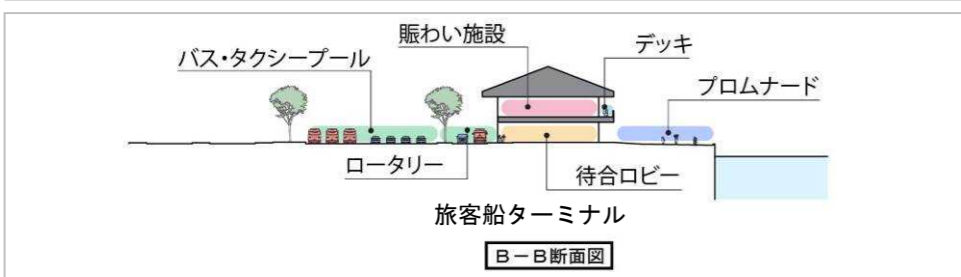
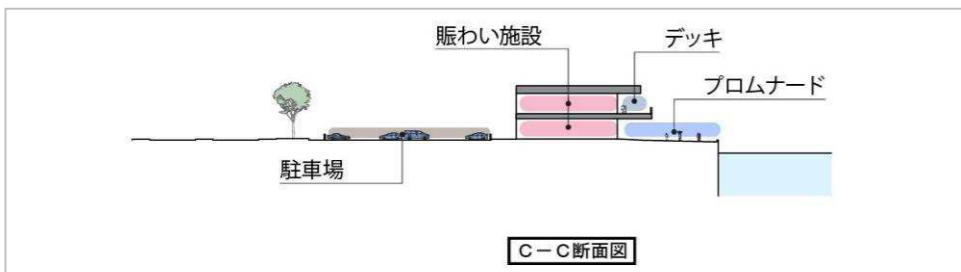


水辺のプロムナード（ONOMICHI U2 出典：現地にて撮影）



博物館（神戸海洋博物館 出典：神戸海洋博物館HP）

施設断面イメージ



海上からのイメージ

